



電気蓄熱暖房器



MVAシリーズ

UVAシリーズ

電気蓄熱暖房器

「暖吉くん」

MVAシリーズ・UVAシリーズ

(MVA-2000～7000・UVA-1450～4450)

取扱説明書

★この度は、「暖吉くん」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

★お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

★お読みになった後は、大切に保管してください。



株式会社 **ホクエイ**

本社／〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号

ホームページ <http://dankichi-kun.com>

お問い合わせ 北海道、東北、関東 ☎0120-881-935

上記以外 ☎0120-494-115

目 次

【1】はじめに～取扱上のご注意～	1
【2】「暖吉くん」の仕組みと特長	3
【3】各部の名称	4
3-1 本体	
3-2 操作部の名称と働き	
【4】基本的な使い方	6
4-1 暖房器を使い始めるとき	
4-2 一般的な使い方	
4-3 一週間程度留守にする場合	
4-4 暖房シーズンの終わりに	
【5】操作方法	7
5-1 現在時刻の設定	
5-2 日常的な使い方	
(1) 蓄熱運転（蓄熱量の設定）	
(2) 暖房運転	
5-3 ファンタイマー機能	
5-4 残熱量の確認	
5-5 追焚き運転（強制蓄熱）[MVAシリーズのみ]	
5-6 チャイルドロック機能	
5-7 液晶バックライト	
5-8 報知音・警報音設定	
5-9 蓄熱・暖房運転の停止	
5-10 結露水防止機能	
【6】エラー表示が出たら	21
【7】故障かな？と思ったら	22
【8】その他	23
8-1 お手入れ	
8-2 定期点検について	
8-3 アフターサービスについて	
8-4 停電時のバックアップ	
8-5 地震があった場合	
【9】標準仕様	25
【10】保証書	29

1 はじめに ～取扱上のご注意～

絵表示について この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫度が高い内容を示しています。

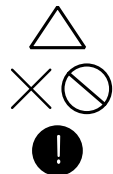
 **警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

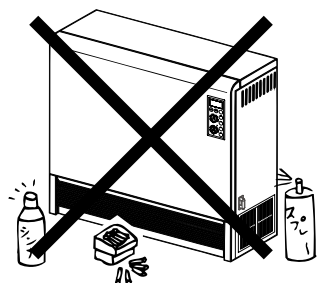
絵表示の例



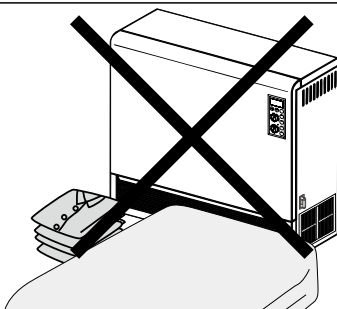
記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
イラスト内の×記号と説明文前の○記号は禁止行為であることを告げるものです。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

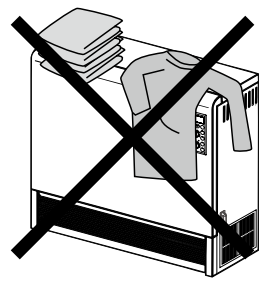
危険



暖房器の周辺にスプレー缶や可燃物を置かないこと。
（火災の原因となります。）

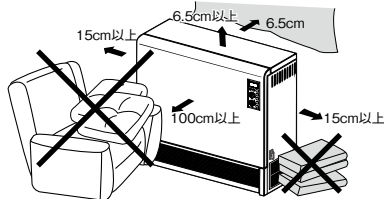


温風吹出口に物を置いて塞いだり、燃えやすいものを置かないこと。
（火災の原因となります。）

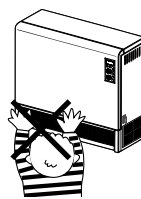


暖房器の上に衣類やふとん等の燃えやすいものを置かないこと。
（火災の原因となります。）

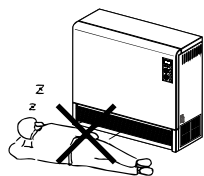
警告



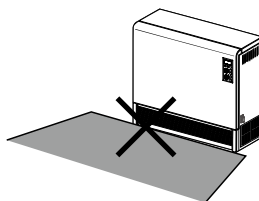
左記の離隔距離を守ること。
（火災の原因となります。）



暖房中は操作部以外には触れないこと。
また乳幼児を暖房器に近づけさせないこと。
（操作部以外は高温になるためやけどの原因となります。）



温風吹出口のすぐ前で寝込まないこと。
（低温やけどや脱水症状を引き起こす恐れがあります。）



じゅうたんは吹出口から10cm以上はなすこと。
（火災の原因となります。）

① 乳幼児や自分で温度調節できない方には、付き添いなしで使用させないこと。

② 衣類の乾燥など暖房以外の用途には使用しないこと。

③ 外装パネルは絶対に外さないこと。（内部に触ると、感電・やけどの恐れがあります。）

④ 分解したり修理・改造は絶対しないこと。

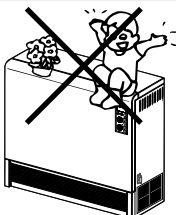
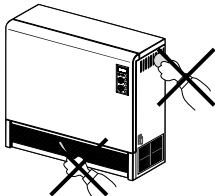
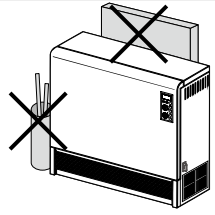
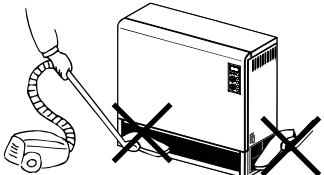
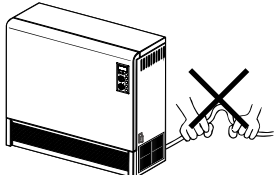
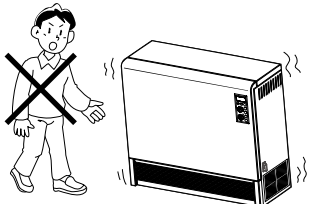
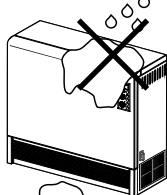
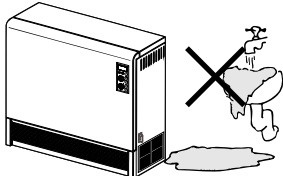
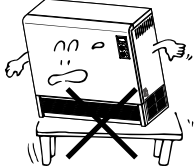
（発火、感電、やけどの原因となります。暖房器の内部は約650℃の高温になり非常に危険です。修理は販売店または当社へご相談ください。）

⑤ 異常がある場合は、必ずブレーカーを「OFF」にすること。

⑥ 地震がおき、万が一、暖房器が転倒した場合、転倒時電源遮断スイッチにより電源が遮断されますが、念のため本体には触れずにブレーカーを「OFF」にしてください。

（100V 200Vともにブレーカーを「OFF」にする。一部の暖房器の100Vはコンセントから抜く。）また、すみやかに販売店または工事に連絡してください。

⚠ 注意

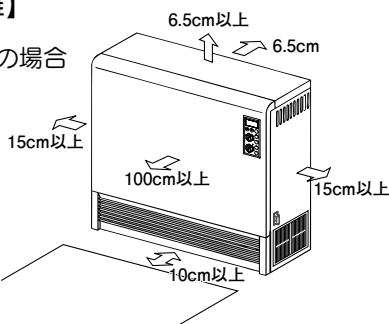
 暖房器の上に、腰をかけたり物を載せたりしないこと。 (やけど・故障の原因となります。)	 暖房器の中に硬貨などの金属や異物を入れないこと。 (感電や故障の原因になります。)	 本体と壁のすき間に物を入れないこと。 (火災ややけどの恐れがあります。)
 暖房運転中は、掃除機等の排気を吹出口や吸込口に向けたり、吸込口・吹出口を掃除機等で吸い込まないこと。(故障の原因となります。)	 電源ケーブルを引っ張ったり、折ったり、無理に曲げたりしないこと。電源ケーブルの上には絶対に重い物をのせないこと。(感電や火災の恐れがあります。)	 地震のときは決して暖房器の周囲に近づかないこと。 (ケガをする恐れがあります。)
 雨にさらしたり、水をこぼしたりしないこと。 (感電や故障の恐れがあります。)	 湿気の多い(水のかかる恐れのある)場所で使用しないこと。 (感電や故障の原因となります。)	 カーペット、ビニール系床材、雪の上等の不安定な場所には直接設置しないこと。 (転倒・故障・火災等の原因となりますので、必ず敷板、板置等の加工を施した後に設置してください。)
❶ 暖房運転中は換気扇等を連続運転したり、換気孔や窓を開け放しにしておくとな熱が奪われ、蓄熱量が不足することがありますのでご注意ください。		
❷ 据付・配線工事は、必ずお買い上げ販売店または、専門業者(電気工事事)に依頼すること。		
❸ 長期間ご使用にならない場合は、必ずブレーカーを「OFF」にすること。		

離隔距離に関して

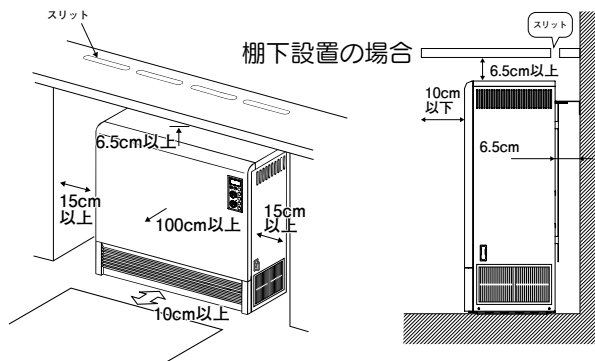
- ・カーテン等の可燃物・壁・家具・棚等に対して、以下の離隔距離が確保されていることをご確認ください。
- ・所定の離隔が確保されていない場合、安全装置やファン動作に支障を及ぼす可能性があります。また、メンテナンス時、作業スペース確保の為にも必ず所定の離隔距離を確保してください。
- ・離隔距離は暖房器が正常に作動するために必要な最低限の寸法です。周囲の仕上材等が変色・変形しないことを保証するものではありません。
- ・棚下設置の場合、上方6.5cm以上の離隔を取られても材質の状態などによって、棚板等が熱の影響を受け、変形・変色する恐れがあります。スリット加工等、熱がこもらないようにすることをお勧めします。

【離隔距離】

オープン設置の場合



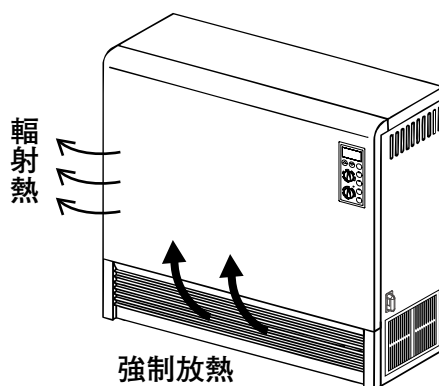
棚下設置の場合



2 「暖吉くん」の仕組みと特長

「暖吉くん」MVAシリーズ・UVAシリーズは、電気料金の安い深夜（MVAシリーズ）または融雪（UVAシリーズ）の電力を利用して蓄熱レンガに熱を蓄え、必要に応じてこの熱を少しずつ取り出して効率よく暖房する「電気蓄熱暖房器」です。

電気蓄熱暖房器は、火を使わず室内の空気を汚さない、安全でクリーンな暖房器です。



	シリーズ名	契約メニュー	深夜電力および融雪電力時間帯
深夜電力	MVAシリーズ	8時間契約	23:00～翌朝7:00までの8時間
		19時間契約	16:00～21:00を除く19時間
融雪電力	UVAシリーズ	22時間契約	16:00～21:00までのうち2時間を除いた22時間

※電力会社とのご契約によって時間帯は異なる場合があります。



安全でクリーン

熱源は電気エネルギー。燃料補給が不要で、燃料漏れ等による火災の心配もありません。また、火を使わないので室内の空気を汚しません。



マイコン搭載で経済的 [MVAシリーズのみ]

マイコン制御で、残熱量と設定蓄熱量に応じて蓄熱時間を自動的に調整（通電シフト）し、無駄な電力消費を抑えます。また、通電制御割引（マイコン割引）によりランニングコストを低減します。

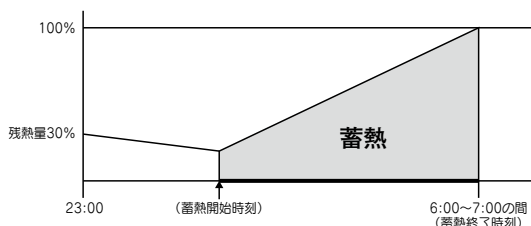
※電力会社によって、割引の有無がありますので、お住まいの地域の電力会社にご確認ください。

マイコン機能のしくみ

残熱量と設定された蓄熱量に応じて、蓄熱開始時刻を自動的に決定し、蓄熱運転を行います。

【例】残熱量30%の場合

23:00に残熱量が30%の場合、翌朝7:00を目安に設定した蓄熱量（「大」の場合100%）になるように蓄熱開始時刻を調整（通電シフト）します。蓄熱時間帯にファンを運転させた場合は、連動して蓄熱運転を行います。



快適暖房

暖房器表面からの自然放熱（輻射熱）により、夜間や朝早く起きたとき、また外出から戻ったときも室温をある程度維持しているため、とても心地よい暖房感が得られます。

また、必要に応じてファンの運転による温風（強制放熱）でお部屋を暖めることもできます。



簡単操作

前面の操作部に配置されたボタンやツマミで簡単操作。

表示部が液晶画面になって、各種設定をより確認しやすくなりました。



追焚き機能（強制蓄熱）

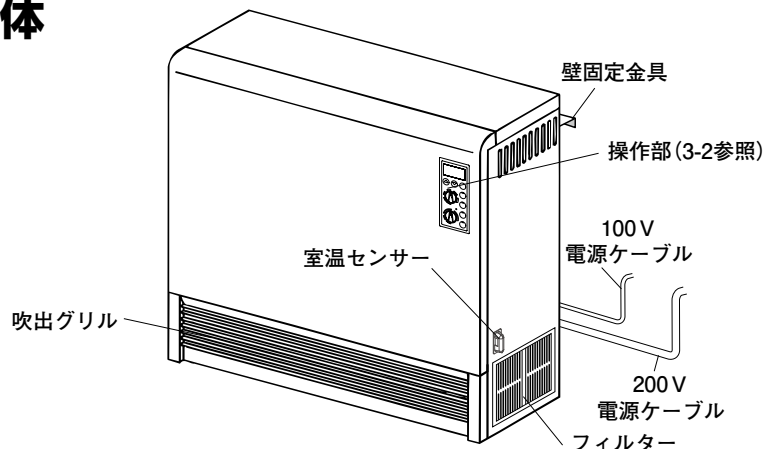
時間帯別電灯契約でご使用の場合、万一蓄熱量が不足した時も最大2時間追焚き（強制蓄熱）することが可能です。

※配線方式によっては、時間帯別電灯契約のお客様でも追焚き運転ができない場合があります。

詳細につきましては、各電力会社にお問い合わせください。

3 各部の名称

3-1 本体



3-2 操作部の名称と働き

※操作部には保護シートが貼られています。使用する時は剥がしてください。

△▽スイッチ
現在時刻合わせや、各種設定時に内容を変更する時に使用します。通常時、△スイッチを押すと残熱量が一時的に表示されます。通常時、▽スイッチを押すと強制的に液晶バックライトが消灯します。

室温つまみ
室内温度を設定します。(→9ページ)

蓄熱中LED
蓄熱している間点灯します。

蓄熱つまみ
蓄熱量を設定します。(→8ページ)

ファン設定 弱 強 自動 (開始) (終了)
タイマー1
タイマー2
室温 20 25 30
蓄熱量
蓄熱中
切
設定 (リセット)
ファン
ファンタイマー
追焚き (3秒)
チャイルドロック (3秒)

液晶画面
通常時、現在時刻を表示します。各種設定時には、それぞれに応じた画面が表示されます。

設定スイッチ
現在時刻や各種設定時に使用します。エラー発生時はエラーのリセットを行います。

ファン設定スイッチ
ファン強、弱、自動、切を設定します。ファン動作状況は、液晶画面とLEDランプ点灯/消灯にて確認できます。(→9ページ)

ファンタイマー設定スイッチ
ファンタイマーの設定、及び開始・終了時刻設定モード切替を行います。ファンタイマー動作中は、LEDランプが点灯し、液晶画面にタイマー1またはタイマー2が表示されます。(→10～13ページ)

追焚きスイッチ
追焚きの運転及び解除を行います。追焚き運転中は、LEDランプが点灯し、液晶画面に「蓄熱中」の文字が表示されます。(→15ページ)
※UVAシリーズは追焚き機能がございませんので、追焚きスイッチはご使用になれません。

チャイルドロックスイッチ
チャイルドロックの設定及び解除を行います。チャイルドロック有効時は、LEDランプが点灯し、液晶画面に鍵マークが表示されます。(→17ページ)

LEDランプ
各種スイッチの設定中または運転中に点灯します。

液晶画面表示部の見方

表示画面	項 目	内 容
	ファン設定 弱	ファン弱運転中 ※室内温度が設定温度以上のときは、表示されていてもファンは運転しません。
	ファン設定 強	ファン強運転中 ※室内温度が設定温度以上のときは、表示されていてもファンは運転しません。
	ファン設定 自動	ファン自動運転中 ※室内温度が設定温度以上のときは、表示されていてもファンは運転しません。
	タイマー1	ファンタイマー1が設定されている。
	タイマー1	ファンタイマー1有効時間帯である。
	タイマー2	ファンタイマー2が設定されている。
	タイマー2 ファン設定 弱 時刻シンボル	ファンタイマー2有効時間帯である。 ファン弱運転中 ファンタイマーが設定されている時間帯に太線が表示されます。 【例】ファンタイマー2は12:00～20:00に設定されている
	蓄熱中	蓄熱運転中(追焚き運転中含む)
	鍵マーク	チャイルドロック有効中
	残熱量/蓄熱量%	【例】残熱量または設定蓄熱量50%
	温度℃	【例】室温または設定温度25℃

4 基本的な使い方

4-1 暖房器を使い始めるとき

- (1) 100V電源（コンセントまたはブレーカー）を入れてください。
- (2) 200Vのブレーカーを「ON」にしてください。
- (3) 現在時刻を設定してください（詳しい操作方法は7ページ5-1参照）
- (4) 蓄熱量を設定してください（詳しい操作方法は8ページ5-2参照）

4-2 一般的な使い方

肌寒く感じ始める頃に使用を開始して、暖くなる頃まで蓄熱を切らずに使い続けるのが一般的です。室温設定は23℃くらいが標準です。お出かけの時や夜の就寝時間はファンを停止するのが一般的です。ファンを動かさなくても自然放熱による暖房は続いていますので、外出先から戻った時や朝起きた時も冷え切ることはありません。外出して誰も家にいない場合には、人の出入りもなく、密閉された温室のような状態になりますので、蓄熱量の減り方も少なくなります（お部屋の作りや暖房容量、蓄熱設定量によっては該当しない場合がございます）。

4-3 一週間程度留守にする場合

お出かけ前にファンのスイッチを切り、蓄熱量は切らずに設定しておきます。蓄熱は続いていますので帰宅後もお部屋が冷え切ることはありません。帰宅後は、必要に応じてファンを運転し、お部屋を暖房してください。蓄熱量を「切」にしてしまうと、留守中に内部温度も冷え切ってしまうので、暖房に時間がかかります。室内を保温状態に保っておく方が経済的です。

4-4 暖房シーズンの終わりに

- (1) 操作部の室温つまみを最小の位置まで戻し、蓄熱つまみを「切」にし、ファンやファンタイマーの設定も「切」にしてください。
- (2) 200Vのブレーカーを「OFF」にしてください。
- (3) 100V電源の暖房器専用ブレーカーを設置されている場合はOFFに、コンセントご使用の場合は抜いてください。

※夏場に誤って蓄熱量が「小」以上になってしまうと、蓄熱を開始してしまいますので、暖房シーズンの終わりには上記操作を行ってください。

5 操作方法

5-1 現在時刻の設定 必ず現在時刻を確認してください。

現在時刻を設定しないと、蓄熱・暖房運転が正常に機能しません。

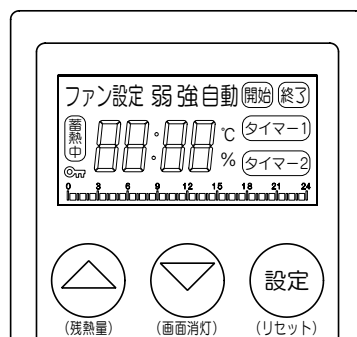
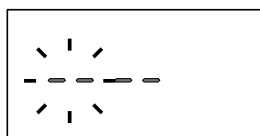
時刻が間違っていると電気料金が割高になります。必ず現在時刻に修正してください。

【例】15:39に時刻設定する。

(1) 設定開始

①  スイッチを3秒長押ししてください。

⇒表示部の「時」が点滅し、
時刻設定モードに入ります。

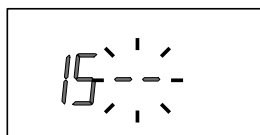


(2) 「時」を合わせる

①  または  スイッチを押して「時」を"15"に合わせる。

②  スイッチを押して「時」を確定させる。

⇒確定させると表示部の
「時」が"15"で点灯し、
「分」が点滅します。

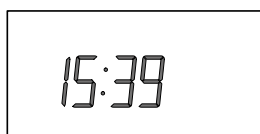


(3) 「分」を合わせ、設定完了

③  または  スイッチを押して「分」を"39"に合わせる。

④  スイッチを押して「分」を確定させる。

⇒現在時刻表示が点灯し、
設定完了となります。



※  または  スイッチを押し続けると、早く進みます。

※時刻は24時間表示ですので、午前と午後を間違えない
ようご注意ください。

1ヶ月に一度は時刻確認を！

停電時のバックアップは5年間ですが、気温の変化や停電などで時刻が変動することがあります。現在時刻が変動したまま使用されますと、電気料金が割高になります。1ヶ月に一度は現在時刻をご確認ください。

※停電保証の5年間は、100V電源の未供給時間の累積が5年という意味です。自然放電などの電池の消耗により使用年数によっては5年より早まる場合もあります。

5-2 日常的な使い方

(1)蓄熱運転(蓄熱量の設定)

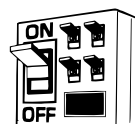
深夜電力（MVAシリーズ）または融雪電力（UVAシリーズ）を利用して熱を蓄えます（ご契約時間の間で蓄熱を行ないます）。

※ご契約内容の詳細につきましては各電力会社へお問合せください。
蓄熱量を小～大の間で、季節に応じ好みの位置に設定します。

蓄 熱 量		
目盛	季節の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	50%
小	春・秋	30%

(1)-1 200Vブレーカーの確認

200Vブレーカーが「ON」になっていることを確認してください。



各ご家庭の
分電盤ブレーカー

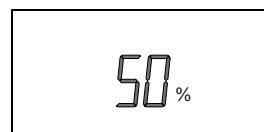
(1)-2 蓄熱量の設定

【例】蓄熱量を50%に設定する場合。

①蓄熱つまみを中に合わせます。



⇒液晶表示部に蓄熱量が%表示されます。



⇒約3秒後、時計表示に戻ります。

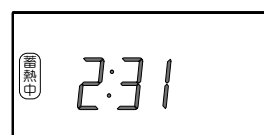
※表示はOFF～100%の間で10%ごとに設定可能です。

※蓄熱量はいつでも変更可能ですが、設定を上げても蓄熱が不足する場合がございますので
MVAシリーズをお使いの場合、深夜電力時間帯の前に変更することをおすすめします。

(1)-3 蓄熱開始

⇒蓄熱を開始し、液晶表示部に「蓄熱中」表示及び
蓄熱中LEDが点灯します。

※MVAシリーズの場合残熱量によっては通電シフトするため、深夜電力時間帯になってもすぐには蓄熱を開始しない場合があります。(3ページ参照)

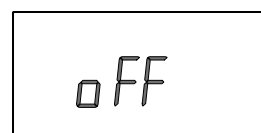


(1)-4 蓄熱の停止

蓄熱つまみを「切」の位置まで回してください。



⇒液晶表示部に「OFF」と表示されます。



※長期間ご使用にならない場合は、誤って蓄熱される事がないよう、200Vブレーカーも「OFF」にしてください。

蓄熱される場合

蓄熱量の設定によっては、ご購入後初めて蓄熱された際に特有のにおいや水滴が出る場合がございますが、異常ではありません。

・においについて

においが気になる場合は、一度蓄熱量を「中」以上でご使用ください。においは数日で消えます。

※2シーズン目以降は、初蓄熱時のような特有のにおいは出ません。

・水滴について

初めから蓄熱量「大」で運転されますと内部から蒸発音が聞こえたりファン運転をすると水滴が落ちる場合がございます。これは湿気をレンガ・断熱材などが吸湿するために生じる現象であり、故障ではありません。

初めて蓄熱する場合やシーズン始めは、蓄熱量を「小」に設定して、蓄熱しながらファンを「強」に設定して運転することにより、暖房器から水が出てくる現象をおさえることができます。

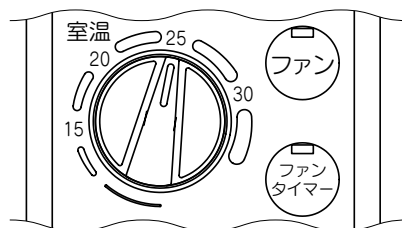
(2) 暖房運転

室内温度を設定すると、ファンが運転し、蓄熱した熱を利用して暖房を行います。

暖房運転を行う場合は、ファンの設定を「弱」「強」「自動」のいずれかに設定してください。

(2)-1 室温の設定

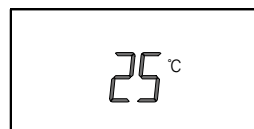
室温つまみをお好みの位置まで回してください。



⇒液晶表示部に設定温度が表示されます。

⇒約3秒後、時計表示に戻ります。

※設定範囲は、10℃～35℃です(表示単位:1℃)。



(2)-2 ファンの設定

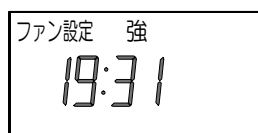
ファンの設定は「切」「弱」「強」「自動」とあります。 スイッチを押すごとに、「弱」→「強」→「自動」→「切」(ファンLED消灯、液晶ファン設定未表示)と切り替わりますので、お好みに設定してください。

※ファン設定を「自動」にすると、室内温度と設定温度差に応じて「弱」運転と「強」運転を自動的に切り替えて運転してくれます。

【例1】ファン「強」運転をしたい場合

ファン「切」の状態から、 スイッチを2回押す

⇒液晶表示部にファン設定 強 が点灯し、設定温度になるように、ファンが自動運転します。



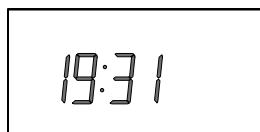
※室内温度が設定温度以上のときは、液晶表示部にファン設定が表示されていても、ファンは運転しません。

※ファンタイマー(10～13ページ参照)を設定している場合は、ファンタイマー有効時刻以外ではファンは運転しません。

(2)-3 暖房運転の停止

ファン「切」の状態になるまで、 スイッチを押します。

⇒液晶表示部のファン設定が消灯します。



必要以上に設定温度を上げると、蓄熱量が不足する場合がございます。

室温センサーが外れていたり、暖房器右側面に適切な離隔距離（2ページ参照）が保たれていないと、室温センサーが正しい室温を感知せず、ファンが運転されない場合がありますのでご注意ください。

MVAシリーズの場合深夜電力時間帯にファン運転を行うと、蓄熱しながら放熱することになり、設定量まで蓄熱されない場合がございます。就寝前にファン設定を「切」にするか、昼間よりも室温を低めに設定していただくことをお勧めします。

5-3 ファンタイマー機能

ファンタイマーを使用すると、設定時間内のみ、事前のファン設定（弱、強、自動）に応じたファン運転を行います。

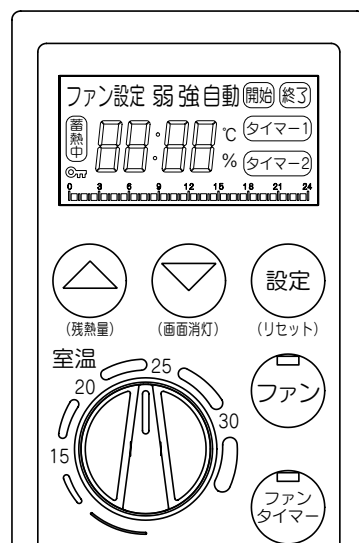
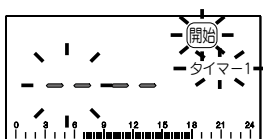
ファンタイマーは2件まで設定できます。

【例】ファンタイマー1を7:30～9:00に設定する場合

(1) 時間設定

 スイッチを3秒長押しします。

⇒液晶表示部に「タイマー1」「開始」が表示され、「時」が点滅します。



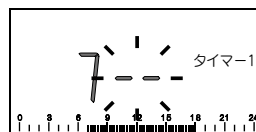
(1)-1 ファンタイマー1開始時刻設定

△または▽スイッチを押すごとに「時」が1時間単位で切り替わります。

△または▽スイッチを押し、「7」に合わせます。

設定 スイッチを押します。

⇒「時」が確定し、「分」が点滅します。

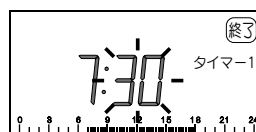


△または▽スイッチを押すごとに「分」が10分単位で切り替わります。

△または▽スイッチを押し、「30」に合わせます。

設定 スイッチを押します。

⇒開始時刻が確定し、次に液晶表示部に「タイマー1」
「終了」が表示されます。



(1)-2 ファンタイマー1終了時刻設定

(1)-1の開始時刻設定と同じ要領で「時」を"9"に「分」を"00"に合わせます。

設定 スイッチを押します。

⇒終了時刻が確定し、次に液晶表示部に「タイマー2」
「開始」が表示されます。

※ファンタイマー2の設定は(1)-1(1)-2の操作を繰り返します。

※ファンタイマー2の設定が不要の場合は、そのままにしておくか、表示部点滅状態で設定を
押すと、ファンタイマー1のみが設定されます。

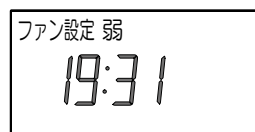
※時刻は24時間表示ですので、午前と午後を間違えないようご注意ください。

(2)ファンの設定

ファン スイッチを押すごとにファン設定が切り替わりますので「弱」「強」「自動」のいずれかお
好みの運転を選択してください。

⇒ファンLEDが点灯し、液晶表示部に選択したフ
ァン設定が表示されます。

※ファンの設定をし忘れた場合（「切」のまま）で
も、開始時刻になると自動的にファン「弱」が入る
ようになっています。



(3) ファンタイマー時刻設定の解除

すでに設定されているタイマー時刻設定を解除する場合

-  スイッチを3秒長押しする。
⇒タイマー時刻設定モードに入ります。

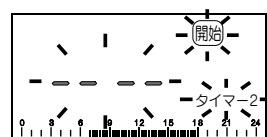
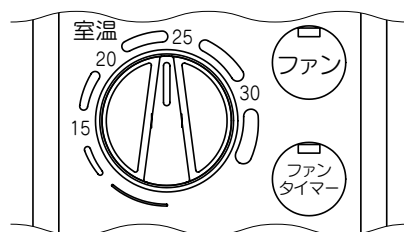
ファンタイマー設定モード中にファンタイマーをキャンセルする場合

-  または  スイッチを押していき、「時」または「分」の表示を"- -"に合わせます。

-  スイッチを押します。

⇒液晶表示部に"----"（タイマー未設定）と表示され、ファンタイマーの時刻設定が解除されます。

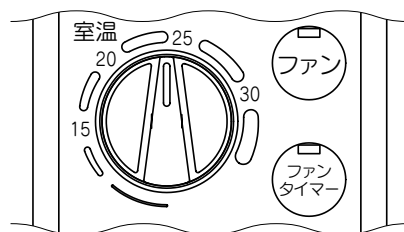
※開始時刻・終了時刻設定時を問わず、「時」「分」どちらでも"- -"を選択してから設定スイッチを押すとファンタイマー1（ファンタイマー2）の時刻設定は解除されます。



(4) ファンタイマーの設定(4パターン)

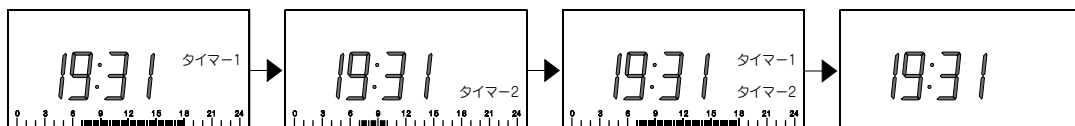
ファンタイマーは次の4パターン使用することができます。

- ・タイマーを使用しない
- ・タイマー1のみ使用
- ・タイマー2のみ使用
- ・タイマー1と2使用



-  スイッチを押していきます。

押すごとに、タイマー1→タイマー2→タイマー1と2→タイマー表示なし と表示が切り替わります。



設定するファンタイマーを表示させます。

⇒ファンタイマーのLEDが点灯します。



⇒設定したファンタイマーの開始時刻と終了時刻が表示部に点滅されます。

※ファンタイマーの時刻設定をしていないと、ファンタイマー機能は使用できず、"----"（タイマー未設定）が表示されます。

※時刻シンボルの該当部分（タイマー設定した時間部分）が常時太線で表されているため、タイマー設定時刻を確認することができます。

(5) ファンタイマー運転中の表示

ファンタイマー機能による運転中は、液晶表示部にタイマー1(またはタイマー2)の表示が枠で囲まれます。

ファンタイマー1有効中。



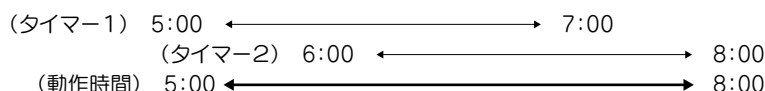
※ファンタイマー運転中にファンスイッチを押し、ファン設定を「弱」以外にした場合、その動作を優先させます。

ファンタイマーを設定した時間になると、事前に設定されているファンの運転（弱、強、自動）を行います（事前のファン設定が「切」のままだと、自動的にファン設定「弱」が入るようになっていきます）。ただし、室内温度が設定温度以上の時は、ファンタイマー設定時間内であってもファンは運転しません。

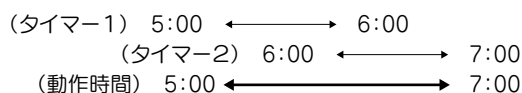
ファンタイマー1と2でファンの「弱」「強」「自動」を個別に設定することはできません。

(6) ファンタイマー使用例

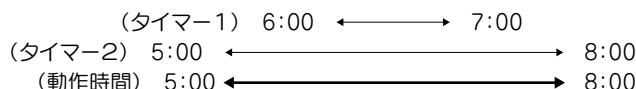
【例1】タイマー1を5:00～7:00、タイマー2を6:00～8:00に設定している場合(事前のファン設定:強)
⇒5:00～8:00までファン「強」で運転されます。



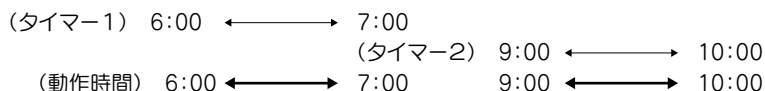
【例2】タイマー1を5:00～6:00、タイマー2を6:00～7:00に設定している場合(事前のファン設定:弱)
⇒5:00～7:00までファン「弱」で運転されます。



【例3】タイマー1を6:00～7:00、タイマー2を5:00～8:00に設定している場合(事前のファン設定なし)
⇒5:00～8:00までファン「弱」で運転されます。



【例4】タイマー1を6:00～7:00、タイマー2を9:00～10:00に設定している場合(事前のファン設定なしでファンタイマー運転中の6:30にファン設定「強」に変更)
⇒6:00～6:30までファン「弱」運転、6:30～7:00までファン「強」運転、7:00～9:00までファン停止、9:00～10:00までファン「強」運転されます。

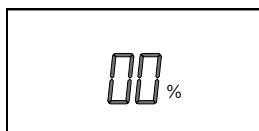


5-4 残熱量の確認

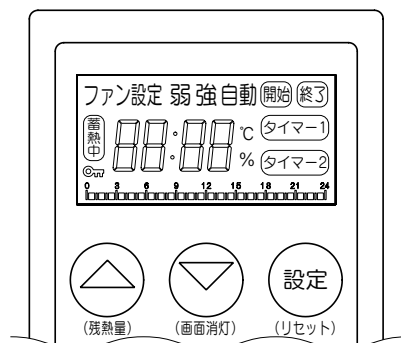
蓄熱中や暖房中にかかわらず、暖房器にどれくらい熱が残っているか確認することができます。

(1) 残熱量の確認方法

- △スイッチを1回押す。
⇒液晶表示部に残熱量が
%表示されます。



⇒約3秒後、時計表示に戻ります。



(2) 残熱量表示

残熱量は、次のように表示されます。使用状況や環境によって実際と異なる場合があります。蓄熱量を設定する際の目安としてご利用ください。

残熱量の表示

- △スイッチを押すと、蓄熱レンガの残熱量を次のように表示し、約3秒後に時刻表示に戻ります。

表示	残熱量	蓄熱量を設定する際の目安
HI	90%以上	(最大まで蓄熱されている状態です)
70	70～90%未満	(蓄熱設定「中」と「大」の間くらいの蓄熱です)
50	50～70%未満	省エネのため、蓄熱設定を下げることをお勧めします。
30	30～50%未満	適度な蓄熱設定です。
LO	30%未満	蓄熱が不足気味です。蓄熱設定を上げることをお勧めします。

5-5 追焚き運転（強制蓄熱）[MVAシリーズのみ]

時間帯別電灯契約でご使用の場合、蓄熱量が不足したときにいつでも蓄熱を行うことができます。

※配線方式によっては、時間帯別電灯契約のお客様でも追焚き運転ができない場合があります。詳細につきましては、各電力会社へお問い合わせください。

(1) 追焚き運転の開始

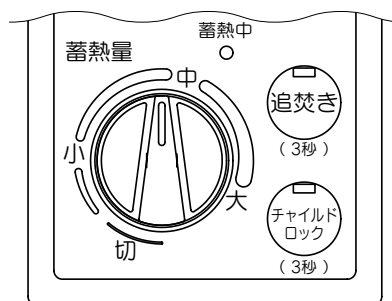
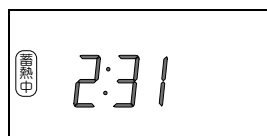
蓄熱量を設定します（5-2-（1）参照）。

 スイッチを3秒長押しします。

⇒追焚きLEDと蓄熱中LEDが点灯し、蓄熱運転を開始します。



また液晶画面表示部に「蓄熱中」と表示されます。



(2) 追焚き運転の停止

 スイッチを3秒長押しします。

追焚きLEDと蓄熱中LEDが消灯し、蓄熱運転を停止します。

また液晶画面表示部の「蓄熱中」表示も消えます。

(3) 追焚き運転有効・無効設定

追焚き運転の有効・無効を設定することができます。

※初期設定では追焚き運転「有効」で設定されています。

(3)-1 設定の開始

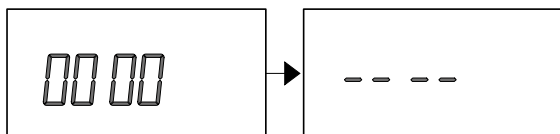
 スイッチを6秒長押しします。

（途中3秒後に時刻設定モードになりますが、指を離さず更に3秒長押しします。）

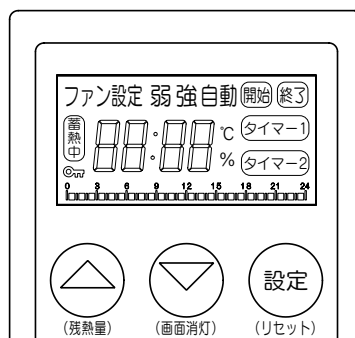
⇒液晶表示部に"0000"（追焚き有効）と表示され、設定モードになります。また追焚きLEDも点灯します。

(3)-2 設定の変更

- △スイッチを1秒以上長押しする。
⇒液晶表示部に"----"(追焚き無効)と表示されます。



- ※△スイッチを1秒以上長押しすることにより、「0000」(追焚き有効)⇔「----」(追焚き無効)の表示が切り替わります。



- お好みの設定で、設定スイッチを押します。
⇒設定が完了し、時刻表示に戻ります。
追焚きLEDも消灯します。

蓄熱量が「切」または200Vブレーカーが「OFF」になっていたり、追焚き運転「無効」を選択されている場合は、追焚き運転することはできません。
ご使用できない場合は、液晶表示部に"----"が点滅されます。

追焚き運転は2時間経過すると自動的に解除されます。また、2時間経過していても設定した蓄熱量に達すると蓄熱を停止します（追焚きLEDは点灯したままです）。

深夜電力契約時間帯以外に追焚き運転を頻繁にご使用になると電気代が高くなりますので、ご注意ください。

ご契約内容によっては、追焚き運転をご使用いただけない場合がございます。ご不明な点がございましたら各電力会社へお問い合わせください。

5-6 チャイルドロック機能

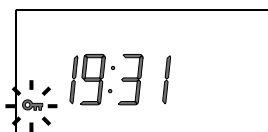
チャイルドロックを使用することで、お子様などによるいたずら操作を防ぎます。

(1)チャイルドロックの設定



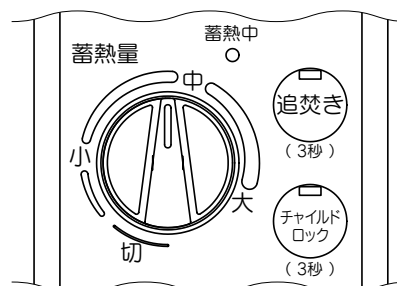
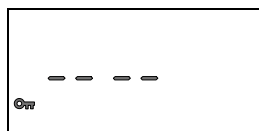
スイッチを3秒長押しします。

⇒チャイルドロックLEDが点灯します。液晶表示部に鍵マークが点灯します。



チャイルドロック中は各操作をしても"----"と点滅し、操作を受け付けません。

※ただし、残熱量の確認と液晶バックライト消灯操作のみ有効です。



※チャイルドロック中に室温・蓄熱つまみを回すと、現在の設定状態が分かるようにチャイルドロック前の各設定値が一時的に表示されます。

【例】蓄熱量設定90%→--90%、
室温設定24℃→ --24℃

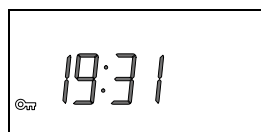
(2)チャイルドロックの解除



スイッチを3秒長押しします。

⇒チャイルドロックLEDが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

また液晶表示部の鍵マークも消灯します。



5-7 液晶バックライト

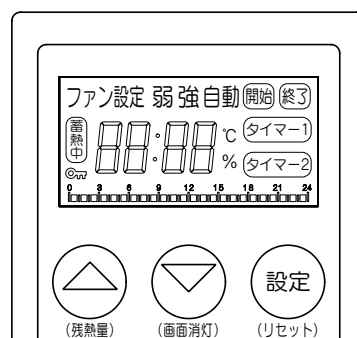
(1) 液晶バックライト消灯操作

省エネのため、最後の操作から1分後自動的に液晶画面のバックライトが消灯しますが、下記手順で強制的に消灯することもできます。

▽スイッチを1回押します。

⇒液晶画面のバックライトが消灯します。

※液晶バックライト消灯後も何らかの操作を行うと液晶画面は明るくなります。また液晶バックライトが消灯中でもお部屋が明るければ表示内容は確認することができます。



(2) 液晶バックライト明照度設定

液晶バックライトをお好みの明照度に変更することができます。

「0」：明照度→（1分後）→暗照度

「1」：明照度→（1分後）→消灯〈初期設定〉

「2」：常時明照度

(2)-1 設定の開始

▽スイッチを5秒長押しします。

⇒液晶表示部に数字が表示されます。

△スイッチを押すごとに…

⇒「1」→「2」→「0」→「1」…と表示が切り替わります。

(2)-2 設定の確定

お好みの明照度の位置で、スイッチを押します。

⇒設定が確定し、時刻表示に戻ります。

※明照度が「0」か「2」に設定されていても、

▽スイッチ（画面消灯）を1回押すと強制的に画面が消灯されます。消灯後何らかの操作を行えば再び明照度（暗照度）になります。

5-8 報知音・警報音設定

報知音：スイッチ操作時に鳴る「ピッ、ピピッ、ピー」音（初期設定：あり）

警報音：エラー発生時に鳴る「ピーツ、ピーツ…」音（初期設定：なし）

これらの報知音、警報音の有無を下記手順で変更することができます。

(1) 設定の開始

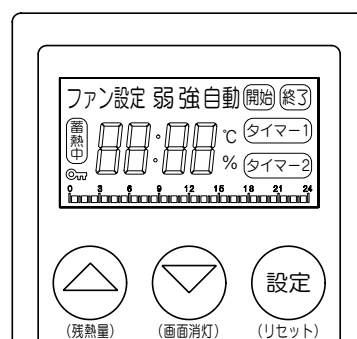
△と▽スイッチを同時に3秒長押しします。

⇒液晶表示部に数字が表示されます。

※各表示と操作音、警報音有無の関係は表の通りです。

操作音/警報音設定の組み合わせ

表 示	組 み 合 わ せ		備 考
	操作音	警報音	
	なし	なし	
	なし	あり	
	あり	なし	初期設定
	あり	あり	



△スイッチを押すごとに…

⇒「00」→「01」→「10」→「11」→「00」…と表示が切り替わります。

(2) 設定の確定

お好みの設定状態で、●(設定)スイッチを押します。

⇒設定が確定し、時刻表示に戻ります。

5-9 蓄熱・暖房運転の停止

長期間お使いにならない時や暖房シーズンの終わりには、4-4. 暖房シーズンの終わりにの手順で停止操作を行ってください。

5-10 結露水防止機能

レンガに吸湿した水分を暖房器外に取り出すため、施工後初めて暖房器に蓄熱を実施する場合と長期間（60日間以上）ご使用にならなかった後に蓄熱をする場合、下記の動作が1度発生します。

⇒追炊き操作や通常の深夜蓄熱時間帯によって液晶表示部に「蓄熱中」の文字を表示している場合（MVA XVAシリーズ）、自動的にファン強運転が120分間実施されます。

⇒通常の深夜蓄熱時間帯によって液晶表示部に「蓄熱中」の文字を表示している場合（UVAシリーズ）、自動的にファン強運転が120分間実施されます。

上記の場合も、自動的なファン強運転は累積120分間実施されます。

※一旦蓄熱を停止して再度蓄熱を実施した場合も、累積120分間になるまで強制的にファン強運転が実施されます。

累積120分経過後はこのような強制的なファン強運転は実施されません。

※上記条件で自動的にファン強運転を実施している場合は、ファンスイッチを押してもファン設定が切り替わりません。

なお上記機能を停止するためには、下記(1)(2)の操作を実施して下さい。

(1)現在行われている自動的ファン強運転動作を停止させる。

 スイッチ+設定スイッチ+ファンタイマースイッチを同時に2秒長押しして下さい。
⇒「ピー」という音と、液晶画面に「CAnC」と表示し、ファン強運転は停止します。

CAnC

(2)長期間（60日間以上）ご使用にならない時の自動的ファン強運転機能を停止させる。

 スイッチ+ファンタイマースイッチを同時に3秒長押しして下さい。

on

⇒「ピッ」という音と液晶に「on」と表示されます。

 スイッチを押して液晶表示を「off」に変更、 スイッチを2回押し「ピー」という音と共に時刻表示画面に変わることを確認して下さい。

off

6 エラー表示が出たら

暖房器に異常が発生した場合、表示部にエラーが点滅表示されます。この場合、自動的に蓄熱と暖房運転を停止します。

〔エラーコード表〕

エラー表示	エラー内容/動作内容	
	室内温度異常(50℃以上) または室温センサー異常(短絡)	右側面(特に室温センサー)周辺に障害物があれば取り除き、下記の方法でエラーをリセットしてください。
	蓄熱体温度異常(過蓄熱) または蓄熱センサー異常(短絡)	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
	室温センサー断線(−20℃以下)	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
	蓄熱レンガ温度異常 (蓄熱センサー断線含む)	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
 ※UVAシリーズはn04 エラー対象外	200V未通電	該当する暖房器のブレーカーが「ON」になっていることを確認してください。 その後、下記の方法でエラーをリセットしてください。 ※蓄熱開始より30分間連続して200V電源が通電されない場合n04エラーを表示します。本体側の異常ではないので、暖房運転は停止しません。 【例】停電等によって200V電源が30分以上遮断された場合に、エラーは表示されますが、200V電源が通電され始めると蓄熱運転を開始します。
	内部メモリー異常	下記の方法でエラーをリセットしてください。
	転倒時電源遮断スイッチ検知	地震等によって暖房器が傾き、電源遮断された場合にn06エラーを表示します。暖房器を元の状態に戻し、エラーをリセットしてください。
	ヒーター断線異常	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
	手動復帰型蓄熱温度過昇防止器動作	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

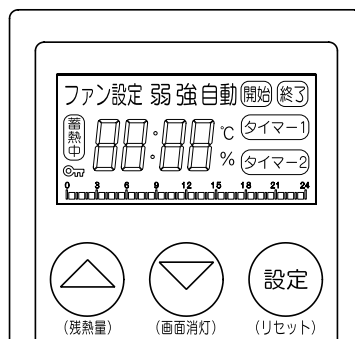
※長期間ご使用にならない場合は、蓄熱つまみを「切」の位置に合わせ、200Vブレーカーを「OFF」にしてください。

※5-8.報知音・警報音設定で“警報音あり”に設定している場合は、エラー発生時に警報音が“ピーツ、ピーツ”と30秒間鳴り続けます。なお下記のエラーリセットの実施により警報音も停止します。初期状態では警報音なしに設定されているのでエラーコードのみが表示され、警報音は鳴りません。

エラーリセット方法

エラーの原因となった異常状態が正常に戻っている場合、次の操作でエラーリセットとなります。

- ① 設定 スイッチを3秒以上長押しします。
⇒エラーが解除されます。



△注意

正常な状態に戻っていない場合、表示が消えても再表示される場合があります。エラーコードをお控えの上、お買い上げの販売店もしくは当社までご連絡ください。

7 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

また、下記の症状以外でも、ご使用中に異常が感じられた場合は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

症 状	調べるところ	対処方法	関連ページ
A. 暖房器が温まらない	ブレーカーが「OFF」になっていませんか？	100V・200Vのブレーカーを「ON」にしてください。	8ページ
	深夜にファンを回していませんか？	蓄熱量が不足する可能性があるため深夜（蓄熱中）はファンを「切」にしておくことをおすすめします。※UVAシリーズは対象外。	—
	暖房器の時刻を合わせましたか？	時刻を合わせてください。	7ページ
	蓄熱つまみが「切」または低い設定になっていませんか？	お好みの蓄熱量に設定してください。	8ページ
B. 温風が出ない	まず、Aの項目をご確認ください。		
	室温つまみが低い設定になっていませんか？	お好みの室温に設定してください。	9ページ
	ファンスイッチが「切」になっていませんか？	ファンスイッチを「弱」「強」または「自動」に設定してください。	9ページ
	蓄熱は十分にされていますか？	蓄熱量の設定を確認してください。	8ページ
	吹出口がふさがれていませんか？	障害物を取り除いてください。	1ページ
	必要な離隔が確保されていますか？	適切な離隔を確保してください。特に右側面に適切な離隔が確保されていないと室温センサーが正しい室温を検知せずファンが運転しない場合があります。	1ページ 2ページ
C. お部屋が暖まらない	まず、A・Bの項目をご確認ください。		
	ドアや窓が開いていませんか？	ドアや窓を閉めてください。	—
D. スイッチやつまみ操作ができない	チャイルドロックが働いていませんか？	チャイルドロックを解除してください。	17ページ
E. 液晶画面が暗い	最後の入力操作から1分後に液晶画面が暗くなる設定になっていませんか？	つまみやスイッチを操作すると画面が一時的に明るくなります。常時画面を明るくしておきたい場合は液晶バックライト設定で変更することができます。	18ページ
F. わずかに、においや煙が出る	初めてお使いになる場合や長期間ご使用になっていなかった場合は、埃や湿気度においが出ることがあります。このような時は、お部屋を十分に換気したうえでご使用ください。		
G. 不規則な音が出る	ビスとパネル、ヒーター等金属間の熱膨張が異なるため、運転時に音が発生する場合がありますが、異常ではありません。		
H. エラー表示が出る	エラーコード表をご参照ください。		
			21ページ

8 その他

8-1 お手入れ

本体を末永くお使いいただくためにも、お手入れを行ってください。

お手入れに関する注意

本体表面の掃除は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。（本体表面の塗装を傷めるおそれがあります）

本体表面や周辺の掃除の際は、必ず200Vブレーカーを「OFF」にし、本体が冷めてから行ってください。（感電、やけどのおそれがあります）

本体内部の掃除は、必ずお買い上げの販売店または当社までご相談ください。（やけど、感電、ケガのおそれがあります）

本体表面の汚れ

通常は乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き取ってください。

※本体に向けて、洗剤等を直接スプレーしないでください。

本体や周辺のほこり

前面吹出グリル及び右側面のフィルター(※)に付着した埃を掃除機で吸い取ってください。

壁と本体背面部との間の埃を掃除機で吸い取ってください。

※フィルターは本体右側面についていますので、取り外して掃除機でこまめに埃やゴミを取り除いてください。（埃やゴミがたまった状態で運転を行うと、暖房能力の低下や故障の原因となる場合があります。）

8-2 定期点検について

末永く安心してお使いいただくために、3シーズンに1回程度、お買い上げの販売店または当社に点検依頼されることをおすすめいたします（有料）。

8-3 アフターサービスについて

- ① この商品の保証書は、29ページに添付しております。
保証書は必ず「お買い上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管してください。
- ② 保証期間中に修理を依頼される時は、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。保証書の内容に従って修理いたします。
保証期間の延長をご希望のお客様は、同封のハガキを使って郵送または「暖吉くん」ホームページ（URL <http://dankichi-kun.com/>）にてお申し込みください。

- ③ 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。有償修理いたします。なお、交換用部品は、本製品の生産終了後も、10年間は供給いたします。
- ④ 本体に異常のある場合、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対におやめください。大変危険です。
- ⑤ 修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

【お問い合わせの際に、ご連絡いただきたい内容】

品 名	電気蓄熱暖房器「暖吉くん」
製 品 の 型 番	MVA-〇〇〇〇またはUVA-〇〇〇〇
お買い上げ年月日	〇〇〇〇年〇月〇日
故 障 な の 状 況	どんな症状が出ているのかできるだけ具体的に。
お 客 様	お名前、ご住所、ご連絡先の電話番号
修 理 希 望 日	〇〇〇〇年〇月〇日

8-4 停電時のバックアップ

停電時は蓄熱・放熱機能（ただし、残熱がある場合は自然放熱を行います）が停止し、表示部が消えますが、バックアップ電池（内蔵電池）により時計機能が保持されています（バックアップ時間は5年※）。通電再開後は、自動的に運転が再開されますが、もし時計機能がリセットされて表示部が点滅状態になっている場合は、現在時刻の設定を行っていただければ通常通りご使用になれます。

※バックアップ時間は5年ですが、自然放電などの電池の消耗により使用年数によっては5年より早まる場合もあります。

8-5 地震があった場合

大きな地震の後、暖房器を再使用するためには、断熱材など内部部材の点検が必要です。お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

9 標準仕様

MVA シリーズ	製品の型番	[8時間蓄熱型]	MVA-2000	MVA-3000	MVA-4000	MVA-5000	MVA-6000	MVA-7000		
	定格容量(単相200V)	W	2000	3000	4000	5000	6000	7000		
	定格容量(単相100V※1)	W	23	23	40	40	40	40		
	蓄熱	蓄熱効率※2	%	89.0	90.0	91.0	92.0	92.0	92.0	
有効蓄熱量※3		MJ	52.5	79.2	106.3	130.5	158.1	184.0		
UVA シリーズ	製品の型番	[19時間および22時間蓄熱型]	UVA-1450	UVA-2450	UVA-3450	UVA-4450				
	定格容量(単相200V)	W	1450	2450	3450	4450				
	定格容量(単相100V※1)	W	23	40	40	40				
	暖房能力※4	通電時	kW(kcal)	1.45(1,247)	2.45(2,107)	3.45(2,967)	3.56(3,062)			
2時間遮断時		kW(kcal)	1.83(1,571)	3.34(2,876)	3.27(2,810)	4.13(3,554)				
5時間遮断時		kW(kcal)	1.49(1,279)	2.42(2,083)	2.67(2,299)	3.49(3,001)				
MVA／UVA シリーズ共通	蓄熱	蓄熱設定	切、小から大無段階設定							
	蓄熱レング	数量	個	12	18	24	30	36	42	
		材質	酸化鉄							
	放熱	放熱方式	ファン強制放熱型							
		ファン設定	切・弱・強・自動運転※54段階切り替え							
	室内温度設定		10～35℃無段階設定							
	本体	横幅	mm	556	719	881	1,044	1,207	1,370	
		高さ	mm	645						
		奥行き(壁固定金具含む)	mm	255(320)						
	重量	本体重量	kg	29	36	43	50	57	64	
蓄熱レング重量		kg	86	128	172	215	258	301		
総重量		kg	115	164	215	265	315	365		
電源ケーブル サイズ	200V	SQ	3.5		5.5		8.0			
	100V	SQ	0.75							
	本体から出る長さ	m	200V・100Vともに約1.0m							
断熱材			シリカ・アルミナ系断熱材							
安全装置	蓄熱	自動復帰型温度過昇防止器・手動復帰型温度過昇防止器								
	放熱	自動復帰型吹出温度過昇防止器								
	蓄熱・放熱	転倒時電源遮断スイッチ(OFF:手前に25°以上傾斜)、100V電流ヒューズ(5A)								
本体カラー			ホワイト系							
機能	通電ランプ	ヒーターが通電している時にLEDが点灯する								
	ファンタイマー	2パターンのタイマー予約が可能								
対応電源			単相200V							

※1：単相100Vの表示にはマイコン基板の消費電力3Wを含みます。

※2：8時間蓄熱時

※3：有効蓄熱量：定格容量(kW)×通電時間×蓄熱効率×3.6(1kWh=3.6MJ) 1MJ=239kcal
(蓄熱量は試験値です。ヒーター容量の誤差により多少異なる場合があります。)

※4：暖房能力：通電時は最大蓄熱状態から連続蓄放熱運転した放熱量を、遮断時は最大蓄熱状態から2時間及び5時間放熱した際の放熱量を示します。(暖房能力は試験値です。ヒーター容量の誤差により多少異なる場合があります。)

※5：自動運転：設定温度と室温との差によってファン「切」「弱」「強」運転が自動的に切り替わります。
(設定温度<室温=ファン「切」、設定温度>室温(温度差3℃以下)=ファン「弱」運転、設定温度>室温(温度差3℃以上)=ファン「強」運転)

当社標準仕様の製品は、一般財団法人ベターリビング(BL)の「優良住宅部品」の認定を受けており、BLシールが貼付されています。

優良住宅部品には、住宅部品及び施工の瑕疵に係る担保責任保険及びこれらの瑕疵に起因する損害に係る賠償責任保険が付されています。

当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙が貼付されている部品については、BLのBL保険制度により、保険金が支給されます。

優良住宅部品は、設置する場所(適用範囲)を設定して認定基準等が規定されています。そのため、優良住宅部品を適用範囲外(P-1～P-2を参照ください)で使用される場合は、優良な部品としての性能等が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品とはなりませんので、ご注意ください。

なお、当社の特殊仕様の製品にはBLの認定を受けていないものもありますのでご注意ください。

BL保険制度の詳細についてはBLのホームページ(<http://www.blhp.org/>)を、当住宅部品の施工要領の詳細については当製品の取扱説明書・据付説明書を御覧ください。

This image shows a single page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, leaving small gaps between them. There are no margins, text, or other markings on the page.

[illegible]

[illegible]

保証書

品名	電気蓄熱暖房機				
型番	MVA-2000	MVA-3000	MVA-4000	MVA-5000	MVA-6000
	MVA-7000	UVA-1450	UVA-2450	UVA-3450	UVA-4450
お客様	お名前 様 ご住所（〒 - ） 電話番号（ ） -				
お買い上げ日	年 月 日				
保証期間	お買い上げ日から蓄熱用ヒーター3年間、蓄熱レンガ5年間、その他の電気部品・他の機能部品2年間				
販売店	販売店名 住 所 電話番号（ ） -				

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記〈無料修理規定〉に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記〈無料修理規定〉をご参照ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または当社にお申しつけください。
 - (ロ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ヒーターや基盤などの電気部品は消耗品です。故障した場合はお買い上げの販売店または当社にご相談ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) 施工説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生ずる故障及び損傷
 - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
 - (ホ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ト) 離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。
- 万一当社または設置工事施工者が倒産している場合、当社等による瑕疵保証責任等に代わる措置が財団法人ベターリビングから受けられます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

※This warranty is valid only in Japan.

